

テーマ研究・調査活動成果報告書

提出日：2022年 3月 25日

<p>テーマ名</p>	<p>「DX浸透の取り組みと周辺課題を解き明かす」</p>	
<p>届出組織等名称</p>	<p>企業内ITコーディネータ・ITガバナンス研究会</p>	
<p>成果物公開URL</p>	<p>https://pitchinou.blogspot.com/</p>	
<p>当活動代表者 及び担当者連絡先</p>	<p>(代表者氏名) 古川 正紀 電話番号：03-5953-6121 e-mail: furukawa@astop-si.co.jp</p>	<p>(担当者氏名) 同左 電話番号： e-mail：</p>
<p>研究・調査 成果概要</p>	<p>DX推進は製造業に限定したのではなく、サービス業や1次産業、更には官公庁やスマートシティまでも包含する広範囲な取り組みを意味している。従って、取り組みのポイントや課題もそれぞれ異なる。現状の企業や組織から見える課題も多く、代表例を例示してみると…。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進目的の明確化 ・ポリシーで動ける組織への再構築 ・アイデアを創出する組織文化 ・仕事の再デザイン ・利用可能なツールの調査・導入 ・社員の再教育 ・反対者の取り込み ・現業業務と導入とのバランス ・導入効果測定 <p>等々。</p> <p>経営資源の比較的少ない企業にとっては、理解は出きても気の遠くなるような課題である。</p> <p>この広範囲な課題に真正面から、取り組もうとしたのが今年度の課題である。</p> <p>当初は執筆者で各章を分担して、体系的な論文形態をとることを試行したが、実質的にすり合わせは困難となり、最終的には執筆者各々が関わるDXに関して、思うところを論述するという形態を採用させて頂いた。</p> <p>結果的には、各執筆者それぞれが、うまくポイントを書き分け、自身の主張すべき点を述べさせて頂いたように感じている。</p> <p>DX自体、統一の概念で…と捉えるには範囲が広すぎて、結局のところ個々が対応すべき対象に対して、「あるべき最善のDX推進」を私たちITコーディネータは支援させて頂くに尽きるというところで、論を閉じさせて頂いた。</p>	
<p>成果物</p>	<p>章立ては、</p> <p>1章 はじめに 2章 利益のパラダイムシフト 3章 DX推進を阻む壁 4章 DX(デジタルトランスフォーメーション)推進とITC(ITコーディネータ) 5章 中小企業におけるDX推進と周辺課題 6章 DXを支援するITCの役割と実践力 7章 おわりに 別紙: 要点ごとの「添付資料」</p> <p>とし、ITコーディネータの活用シーンにフォーカスして、論述致しております。</p>	

<p>事務局受付日</p>	<p>2022/3/28</p>
<p>案件番号</p>	<p>S21007</p>